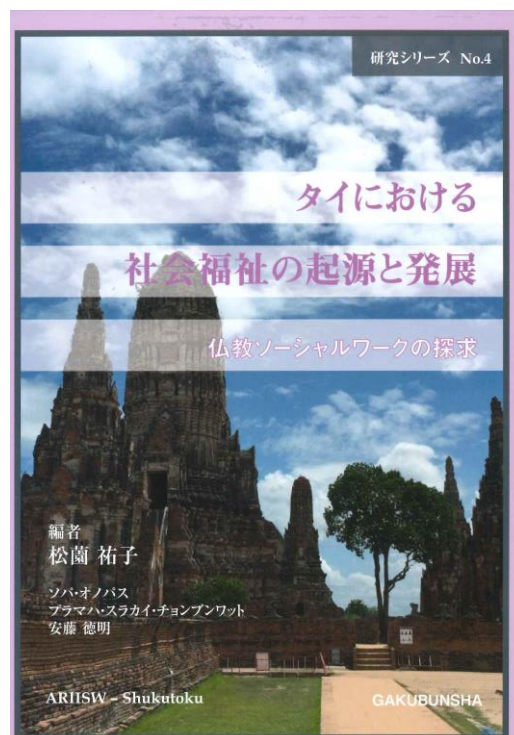


仏教ソーシャルワークの研究シリーズに新たな3冊

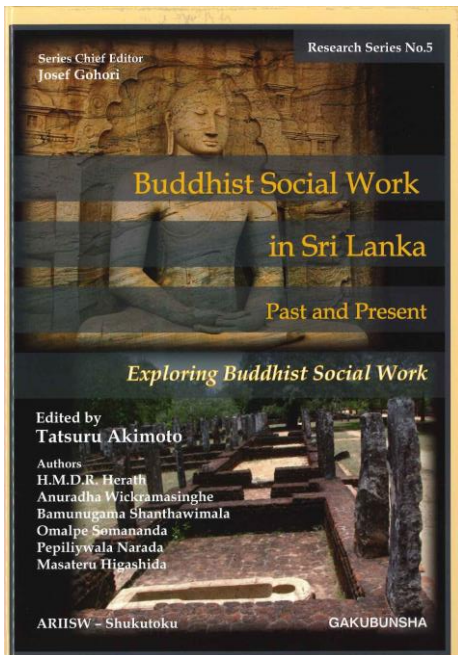
年度末に出版されましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりきちんと報告する時間も余裕もありませんでした。遅ればせながら、2020年3月末に発刊された書籍についてご案内します。



タイにおける社会福祉の起源と発展

編者：松蘭祐子

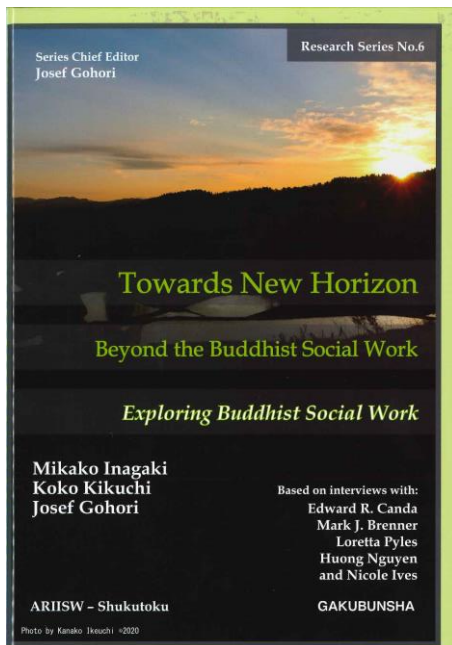
英文としてすでに出版済みの研究報告をもとに、タイの社会福祉の原点を築いた仏教思想と今日の実践の両方を写し出した書籍です。現地のタイの研究者、実践者、そして僧侶の「内側」からの目線と、量的データを用いて実証したプログラム研究員の安藤徳明先生、そして松蘭先生の「外側」の目線を組み合わせた一冊です。



Buddhist Social Work in Sri Lanka: Past and Present

編者: 秋元樹

スリランカにおける仏教ソーシャルワークの過去と現在の姿を描いた研究報告です。仏教の教えを踏まえてソーシャルワークとの関連とその歴史的な展開を論じると同時に、今日の実践のあり方をデータに基づいて描写しています。リサーチフェローの東田全央先生の分析も含まれています。



Towards New Horizon: Beyond the Buddhist Social Work

編者: 稲垣美加子、菊池幸工、郷堀ヨゼフ

アジアの仏教寺院の実践は北米からどのようにみえますか。北米のソーシャルワーク研究者を対象としたインタビュー調査を土台にした一冊。仏教とソーシャルワークとの関連を北米の視座からみた上で、ソーシャルワークそのものについて考察して、新たな Horizon を目指します。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。